

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしょう」)

クルージング旅行(ロシア領サハリン)



2019年9月に8泊9日のロシア領サハリン(旧日本領土(樺太))へのクルージング旅行へ行って来ました。

私の60才還暦の思い出に、また以前から船旅の憧れもあり、思い切って今年5月に旅行代理店HISで予約、アクシデントもなく無事に当日を迎えました。

出発は午後5時なのですが横浜に前泊し準備万端、そのまま順調に乗船し9日間お世話になるマイルームへ到着。クラスは海側バルコニー1間取はく4畳半のベッドルーム・2畳のクローゼット・1畳のシャワー室・3畳のバルコニーと言った所でしようか? 部屋専属担当者(部屋のクリーニング)がいて安心ですが、初日以外にお会いする

事はほとんど無かったです。ベッドメイキングは一日2回(午前&午後)たぶん食事の時間に行っています。

船に乗り込み部屋に入ればあとは最終日まで荷物は広げっぱなしがこの船旅の大きな利点です。

あとクルージングの楽しみの一つが食事です! 夜の食事は専属ウエイターが付いてくれるメインダイニング・イタリアンなサバティニーニ、ブランド牛のステーキハウス、昼夜いつでも利用できるbuffetの4つがあり、他に有料の寿司屋さんやメンバー制限のクラブ? などがあります。

食事の時に同じテーブルに付いた人たちと交流できるのですが、話材はクルージングをより安く楽しむかで話が弾みました。

ある方がこの船旅を一番安く乗船できる「旅行代理店はクルーズプラザだね」との話を皮切りに、トラピックスは価格がディスカウントになったら自動的に下げられるとか、私の旅行代理店は下げられなかった? などなど8~10人のテーブルは時間が

発行 有会社ナナップ
編集責任 中田 等
発行日 令和元年十一月
問合せ先 〇九八五五一七四〇九

足りないくらい話が盛り上がりました。

アルコールの持ち込みは案外緩いのヨ、私たちは乗船前に宅配便で9日間のアルコールを送っておいた? などの貴重なお話も聞きました。(アルコールの持ち込みは一人ワイン一瓶と規約に書かれており、持ち込んだ場合は持ち込み料金を加算される) 18階建てのこの船は最終日まで迷ってしまうほど広く、施設の半分も覗けませんでした。

また、乗船時に部屋のキーカードが頂けます「キャプテンズ・サークル」の色分けされたメンバーカードです。

船内のクレジットカード機能もついておりこのカードでほとんどすべてのオプション(有料)に対応できます。

最初はブルー色で次回はゴールド、プラチナメンバーになるとブラックカードになります。

次号に続く・・・(等)



ラ子野郎 見参!

「何処かで食べたような・・・の巻」

宮崎市内から青島方面に行く途中の源藤交差点にドックストアアコスモスがあります。その交差点を清武方面に右折すると左手にマウントエベレストカレールソース源藤店が見えてきます。

そして、お隣のコスモ石油との間に細い道路があります。そちらに左折すると、以前は、げんどう薬局と言う調剤薬局があった建物が、現在、看板が変わって「たんたんめんたしろ」になっています。

行ったのは日曜日の午後1時30分位で、カウンターは無く、テーブルが4台しかありませんでしたが、ちょうどお客さんが帰るところで、待たずに座れました。

早速、担担麺単品900円(税込)と担担麺と半炒飯のセット1320円(税込)を注文しました。

待っている間に、奥様が知合いらしいお客様と会話をしています。

奥様「なかなか場所が決まらず、8カ月遊んでました」

「笑」

お客様「味は変わっていないわね!」

そんな会話を聞きながら待っていると、注文した物が運ばれてきました。

逸る気持ちを抑えながらスープを一口。

やっぱり、あの味です。ビジュアルも変わっていません。お値段はチョット上がったかな?

そうです、宮交シティーにあった担担麺の「満正苑」のご主人が「たんたんめんたしろ」としてオープンさせたお店です。

久しぶりに懐かしくいただいた担担麺でした。(大)



チヨースンの「よくある話」

「教える」から「教わる」

先日、ものづくり体験教室にサポートスタッフとして参加しました。対象は小学校4年生で、オリジナルのネームプレートを作る内容です。子供たちに聞いてみると、普段はハサミしか使わないということで、作業はほぼカッターでやらなければならぬものだったので、苦労していた様です。貴重な体験になったのではないかと思います。

生徒さんたちの様子を見ていて思ったのは、カッターの握り方の違い。あまり時間もないので、「鉛筆の握り方か、自分なりに握りやすい方法で」という説明で持たせていて、例えば、大人の方でも箸の握り方が独特の方をお見掛けすることがあります。道具については可能な限り「基本・正式な扱い方」を早期に習得する方が良さそうだと思います。

「これでいいのだ!」という考えを否定したいのではなく、基本あったの応用で

あって、我流ありきだと先人の知恵を無視している様な気がしますし、全てに対処できるかどうかはわからない。また、ある程度マスターしてくると、応用の先に「自分のやり方」を見出しますが、これもそのやり方に固着し過ぎることがある。

教えを受けるときの「素直な気持ち」と、教えられたことに対して「何故そうするのか」という意味への配慮が大切であること、子供たちに「教えること」で「私も教わった」貴重な体験をさせて頂きました。(帖)

ケセラセラ

私は今年還暦、夫は69歳になりました。

人生の節目としていろいろ計画を立てました。が、うまくいかないものです。

①息子が横浜に定住しました。孫が女の子です。それで一番の気がかりだった慕じまいをする事にしましたが夫が忙しくて保留状態です。

②家のローンの返済が終了し、消費税も10%になるの

で、夏の塗装をしました。しかし、天候不順の為まだ終了していません。その上防水工事とベランダの壁の張替えで90万円の予算オーバーです。

③夫が体調が悪くて病院に行ったら、脳梗塞で即入院でした。

早期発見の為、投薬治療だけで手術の必要が無かったので安心しました。

④交通事故等に備えてドライブレコーダーをそろそろ付けようと考えていました。

しかし、仕事中に横から出てきた車に追突されてしまいました。

物損事故で済んだのでホッとしましたが、車の修理がだいぶかかるとの事でした。

余談ですが私の為に来た事故処理車が、これまた、停車中に物損事故にあっていました。(笑)

以上、これが、10月に私に起きた事柄です。「ケセラセラ」なるようになるさ。悩んでもしょうがないですね。(百)



いんちきクライマーが行く！ 「ワシは斟鉢山でメシを炊くのだ」編

宮崎市木花の加江田川をはさんで、右岸に屏風のように横に広がるギザギザの稜線こそが斟鉢山(クンパチ)です。標高は五百メートル。加江田溪谷(旧称日向ライン)を構成する徳蘇山系・鶴戸山系に属しています。同山系の双石山(ボロイシ)ばかりに人気は集中しますが、標高はほぼ変わらず、クロウトの山好きに愛される場所です。山中には立派な社殿の斟八神社があり、休憩場所として、時には避難小屋として利用されています。眺望は、はるか太平洋を望み、宮崎市内はもちろん北へと目をこらすと雄大な尾鈴山までもが一望できます。



登山ルートはいくつかありますが、四駆をお持ちなら伐採作業道をひたすら登りつめれば、山頂直下50mまでクルマで行くことも可能です。今回は加江田地区の曾山寺駅近

ティンといい米と水を入れてストープへ。ポコポコと泡をふかくなったら火からはずして逆さまにして蒸らしタイム。このタイミングは職人芸を要すのだ。この間にレトルトのカレーやらハンバーグやら入れた鍋を火にかけて温めます。調理時間に十分かけて、いざいただきませう。うまし！最高！自然のど真ん中で炊き立ての白い飯は最高の贅沢ですな。山飯はゴミを出さない！この一点に注意します。ラーメンの汁は飲み干す事！食べ残しを捨てない事！故にちょっと物足りない量を準備するのがベストです。テント泊などの場合、朝、夜のメニューを考えつつ、いかに軽量化するかがポイントであり、楽しみもなまります。登るだけでなく、スケッチしたり、動画を撮影したりと、いろいろな楽しみ方があるのが登山の魅力です。(賢)



登山ルートはいろいろありますが、四駆をお持ちなら伐採作業道をひたすら登りつめれば、山頂直下50mまでクルマで行くことも可能です。今回は加江田地区の曾山寺駅近

編集後記

最近、暗くなる時間がだんだんと早くなってきました。

若い頃には余り感動がなかった季節の変化の美しさを、近頃は毎年、決まった場所を確認するのが一つの楽しみになって来ました。

その一つが、今の紅葉の時期に必ず訪れる、大分県くじゅう連山があります。私は山登りはしませんが、あくまで車窓からですが、その中でも、牧ノ戸峠付近の紅葉はとても感動します。

私が行ったのは10月26日だったのですが、山頂付近の紅葉が木々の種類によって真っ赤に色づいている状態でしたので、おそらく、今頃が見ごろではないでしょうか。

これから、しだいに山裾に下りてきて、冬に向かって行きます。(大)

